

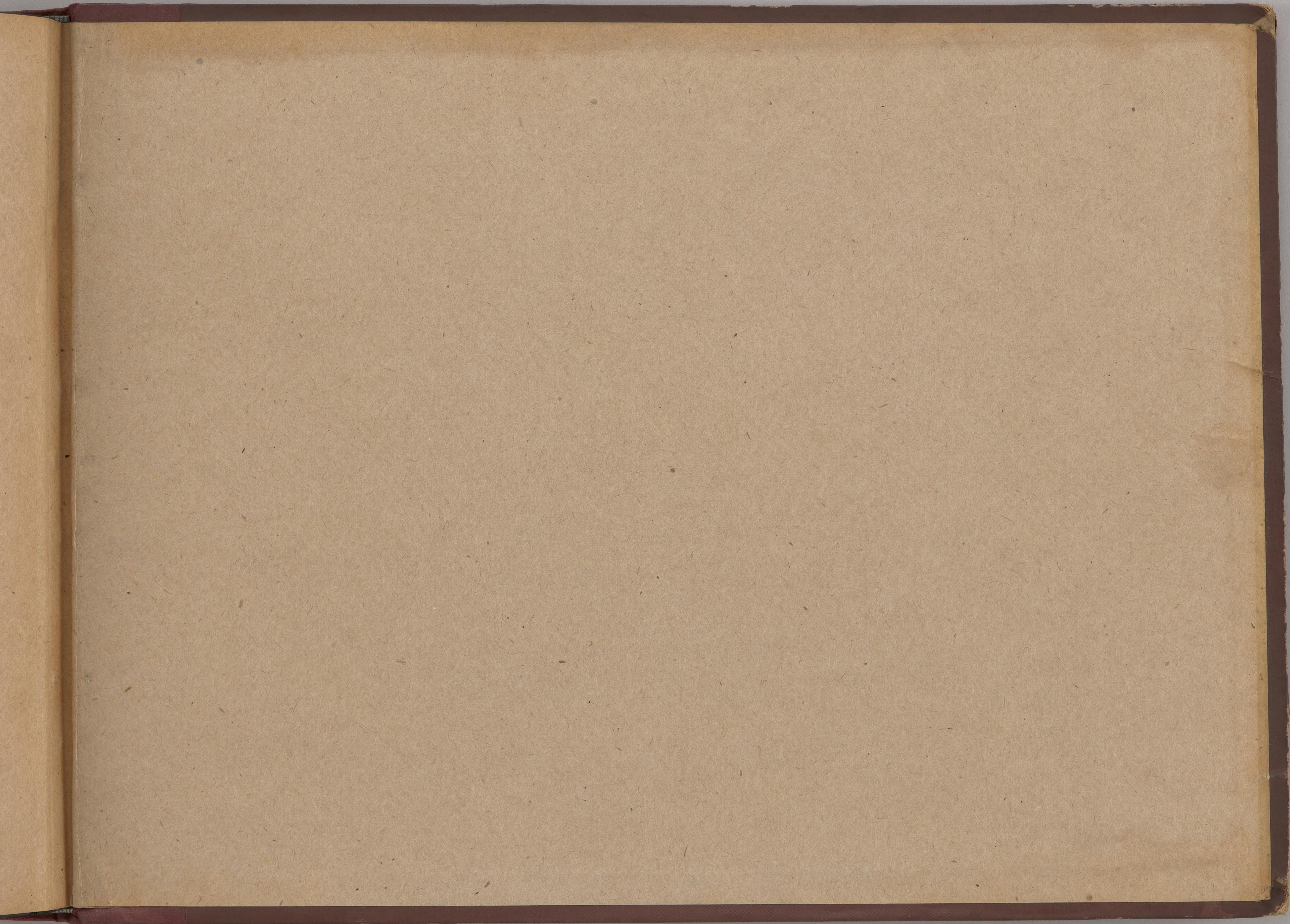


\*1201100596677\*

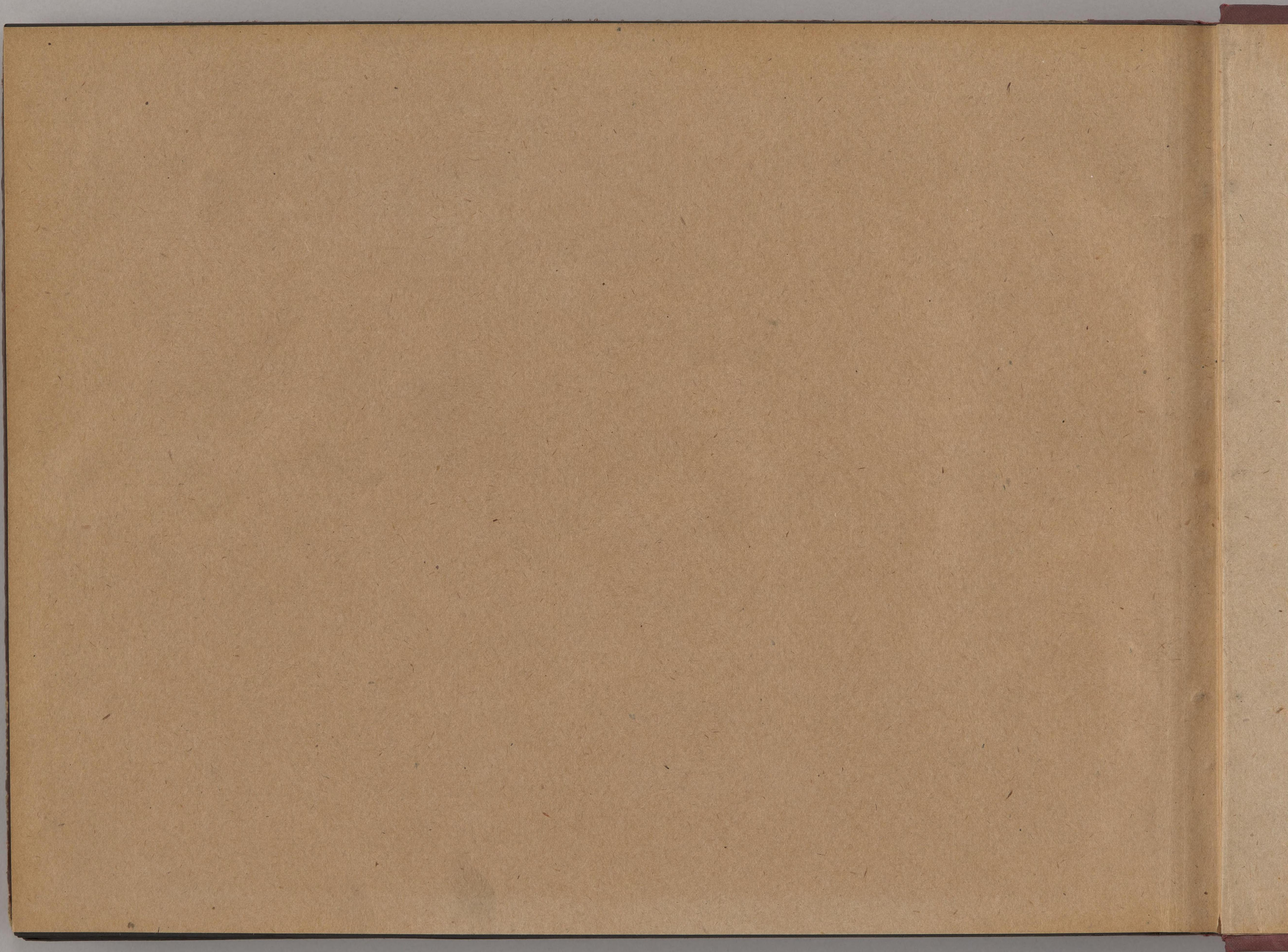


禁電子式複写

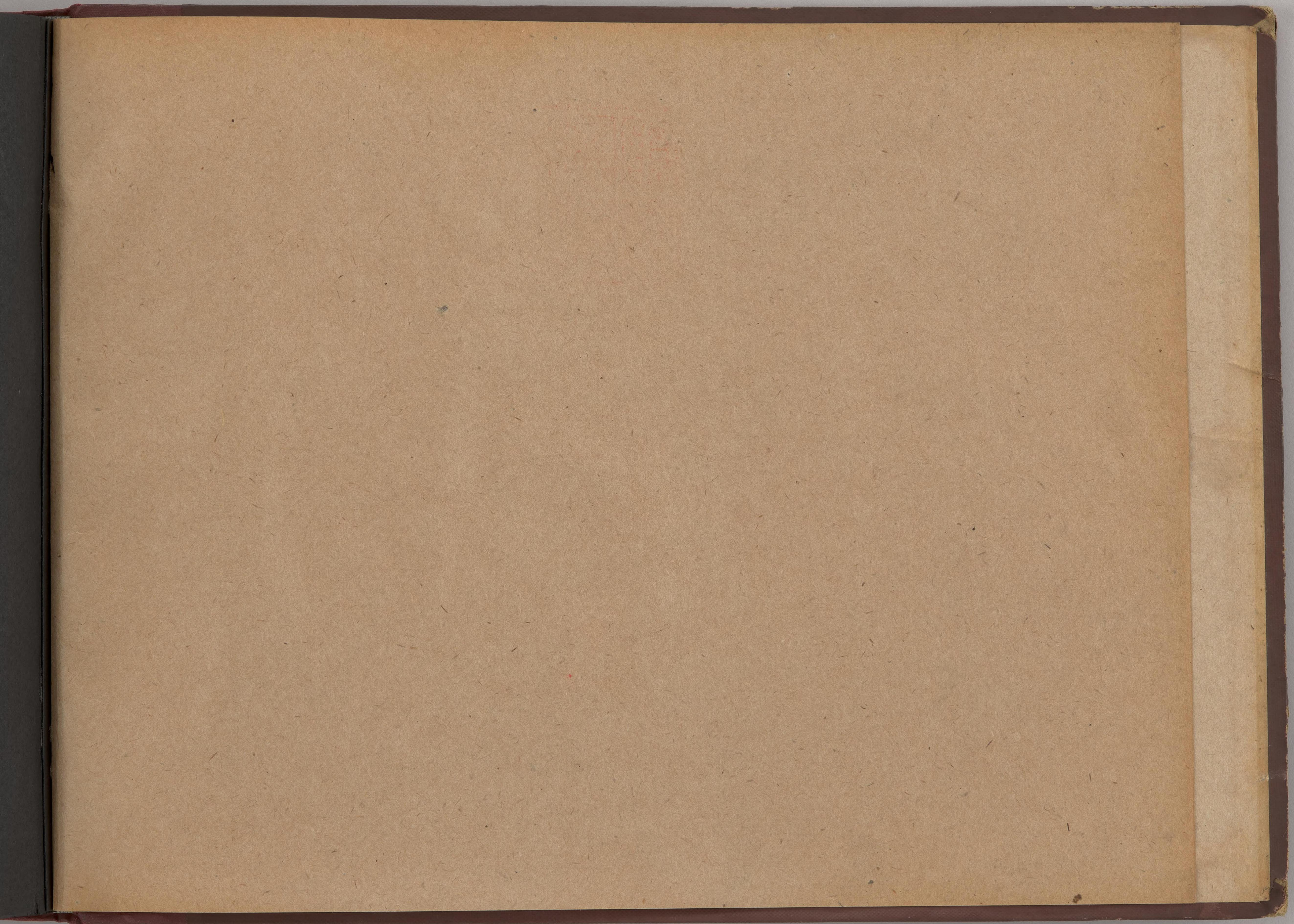








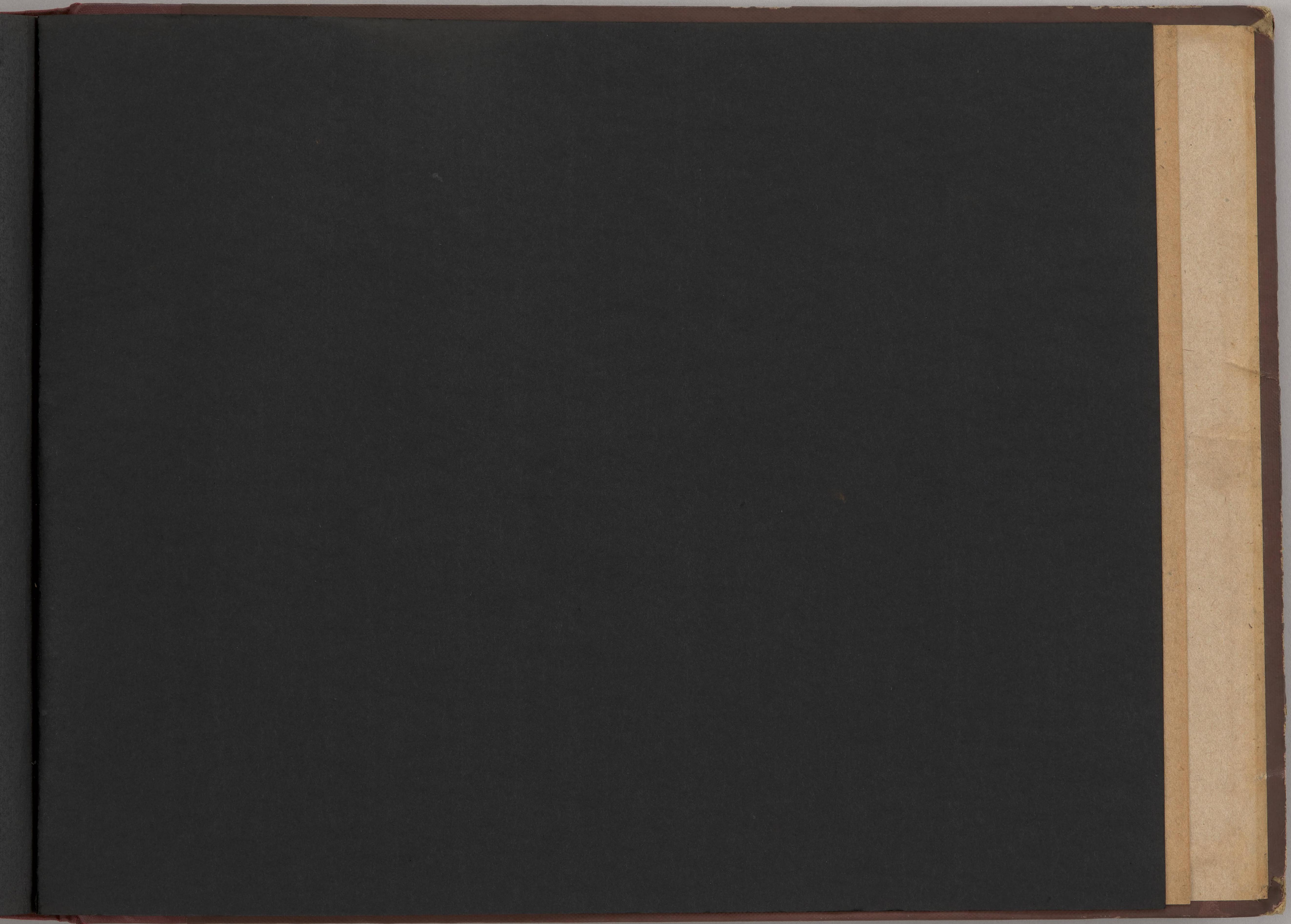


















『お断り』バルブ節約の國策の線に沿つて  
同盟寫眞 内地ニキリス 第一一號

◎ロンドン機世紀の記録完成

(東京)十三年十二月一日

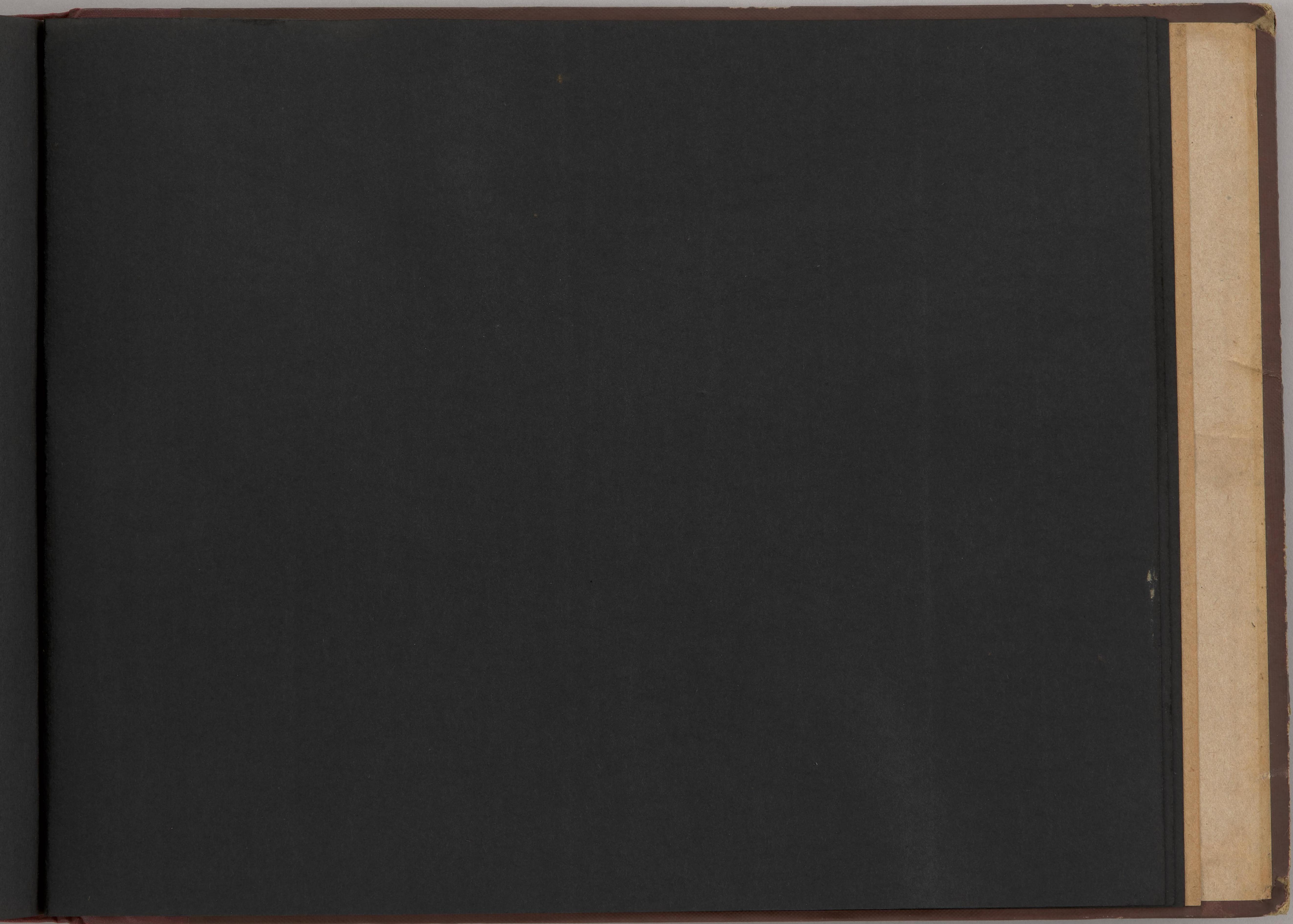
四十六時間十五分五十二秒の驚異的記録を以  
つて盟邦獨逸の大鷲・コンドル・機は卅日午  
後十時十分五十二秒立川飛行場にゴールイン  
した。

寫眞は立川着陸のコンドル機と萬歳















―お断り―バルブ節約の國策の線に沿つて  
同盟寫眞 内地ニュース 第七號

◎湯爾和一行招待

〔東京〕十三年十二月一日

陸文外三相主催の湯爾和一行の招待會  
は一日午前零時半より首相官邸に於いて行  
はれた。

寫眞は午餐會に於ける〔左より〕飯塚陸相  
荒木文相、湯爾和博士及有田外相









◎コンドル機勇士一行参内  
 歐亞の空に大鵬を馳つて一世紀の記録を樹  
 立した獨逸親善機ヘンケ機長以下五人は一日  
 午後一時加治木中佐の同伴により参内御機嫌  
 奉伺の記帳をなして退下した  
 寫眞は  
 一、東車寄に於ける一行





同盟寫眞 内地ニユース 第一一四號

◎輝く武勳古莊中將參内

(東京)十三年十二月二日

抗日策謀の據點廣東の攻略戦に赫々たる武勳を樹てた南支派遣軍最高指揮官古莊中將は不幸病を得て更迭。二日午後一時廿五分東京驛着歸還したが直ちに參内午後三時天皇陛下に拜計仰付けられ具さに參内午後三時天皇陛下に参内の中將と參内の中將

寫眞は東京驛着の古莊中將と參内の中將





◎豫算閣議  
 二日の定例閣議は午前十時五十分首相官邸に  
 開會し近衛首相以下全閣僚出席。過般來大藏  
 省に於て各省と折衝中であつた昭和十四年度  
 總豫算案を附議し池田蔵相より詳細説明を行  
 ひ異議なく之を可決した  
 寫眞は閣議に臨む蔵相、陸相（於首相官邸）





同盟寫眞 内地ユロイス會 第一四號

◎沙漢王子様お別れの會

(東京) 十四年十二月三日

イエーメン國王殿下には滞京八ヶ月、各方面の歓迎同様に對し感謝の意味で内外朝野の名士三百五十余名招待お別れの會を二日午後五時から帝國ホテルで催された

寫眞は向つて左から殿下、松岡洋石氏、イタリヤ大使、ベルギー大使





◎伊東政喜中將白衣の凱旋  
江南戦線で名譽の戦傷を負つた伊東政喜中將  
は二日午後三時二十五分東京驛着凱旋、宮城  
拜の後陸軍病院に入つた  
眞は凱旋の伊東中將





久邇宮御前で光榮の講演  
 洋大 研究室で高楠順次郎博士指導の下に  
 研究をしてゐた堺市の立上愛子嬢（  
 二八）は聖徳太子奉讀會の學術論文を提出二  
 年の研究つて三日午前十時總裁久邇宮朝  
 王殿下の御前で晴れの論文發表の講演を行  
 った。寫眞は光榮の愛子さん



◎有功章授與式

帝國飛行協會ではコンドル機の覇業に對して五島人に有功章を贈ることとなり三日午後五時半から協會に於て授與式を行つた

寫眞は阪谷男よりヘンケ機長に有功章授與

◎督戦隊の七ツ道具を土産に

陸軍情報部山本少佐歸る

廣東攻略戰に参加した陸軍省情報部山本兼久少佐は廣東東方沙河の敵陣地附近の民家から督戦隊の七ツ道具と珍らしい支那の慰問袋を土産に持つてこの程歸京した

寫眞はその七ツ道具と慰問袋







◎飯塚部隊長以下英靈凱旋

江南戦線にて散つた故飯塚部隊長以下各地の忠靈八百七十六柱はかくかくたる武勳に輝いて四日午前七時芝浦港に無言の凱旋をした。寫眞は一、故飯塚部隊長の英靈二、出迎の飯塚部隊長未亡人と長男勝君三、芝浦岸壁の合同慰靈祭







同盟寫眞 内地ニユース 第一四號

◎秩父宮様を御視察

（東京）十三年十二月五日

秩父宮殿下には參謀本部員の御資格にて五日

午前九時立川飛行場に御着、コンドル機の前に

に整列して御出迎へ申上げ、コンドル機長以下

搭乗員六名に對し一々握手と御言葉を賜つた

寫眞は御視察の秩父宮殿下

◎翼の使者歌舞伎見物

訪日親善の翼の使者へンケ機長以下五名の乗

組員は四日午九時半から歌舞伎座に菊五郎

の娘道成寺一幕を觀劇した

寫眞は菊五郎の白拍子と握手するへンケ機長







◎早明ラグビー、帝早籠球

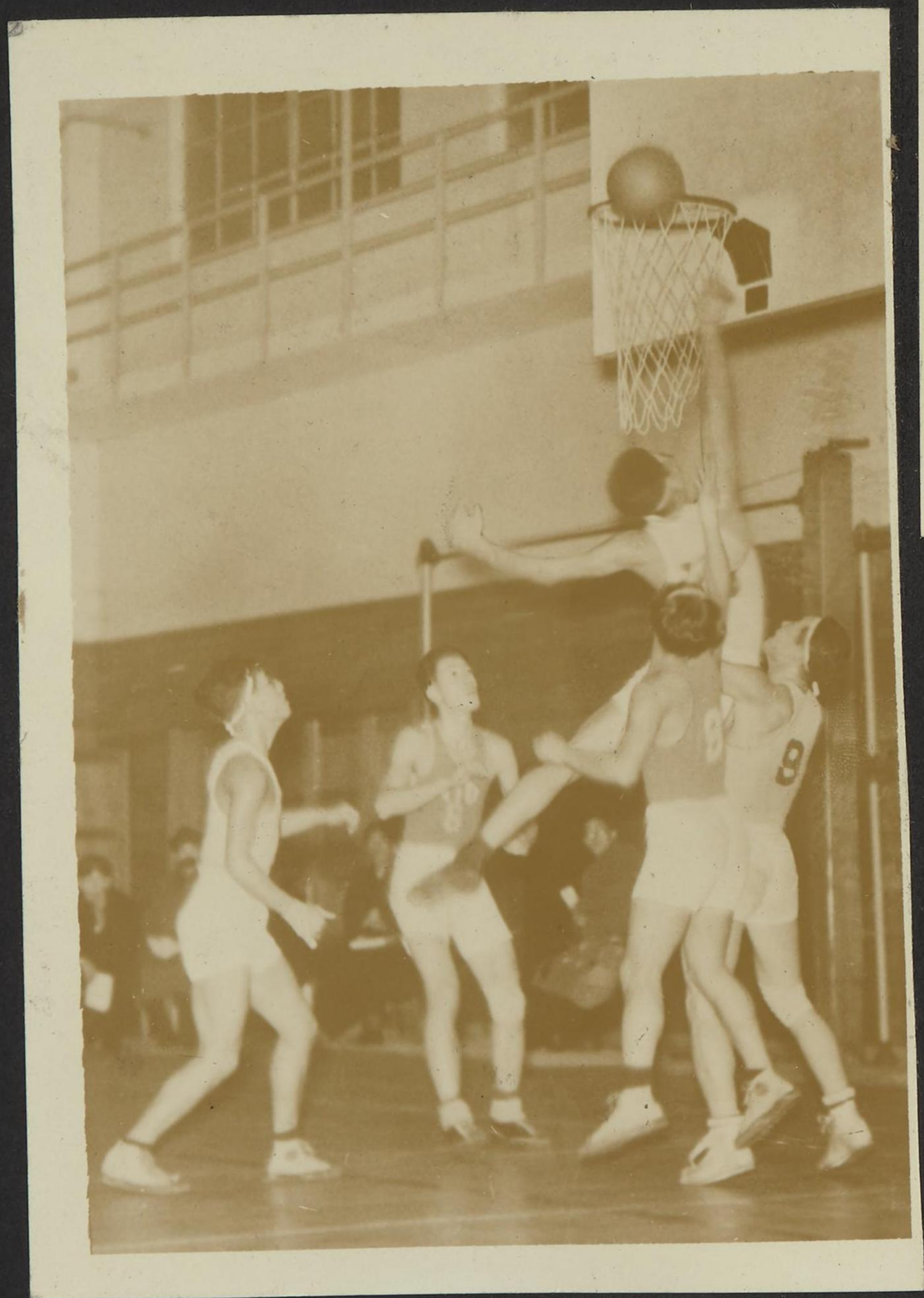
待望の早明ラグビー戦は四日午後二時半から  
外苑競技場で帝早籠球は四日午後六時から國  
民体育館で開催された

寫眞は

一、早明ラグビー（前半二十二分明大三回目  
のトライ直前）

一、帝早籠球戦（後半帝大ゴール）







！お断りーバルブ節約の國策の線に沿つて  
同盟寫眞 内地ニユース 第一一五號

一、東京一十三年十二月六日  
日獨空の一萬五千キロに防空ルートを完成し  
たコンドル機は日本全國の歡迎を土産に六日  
未明曉闇を縫つて左様ならした

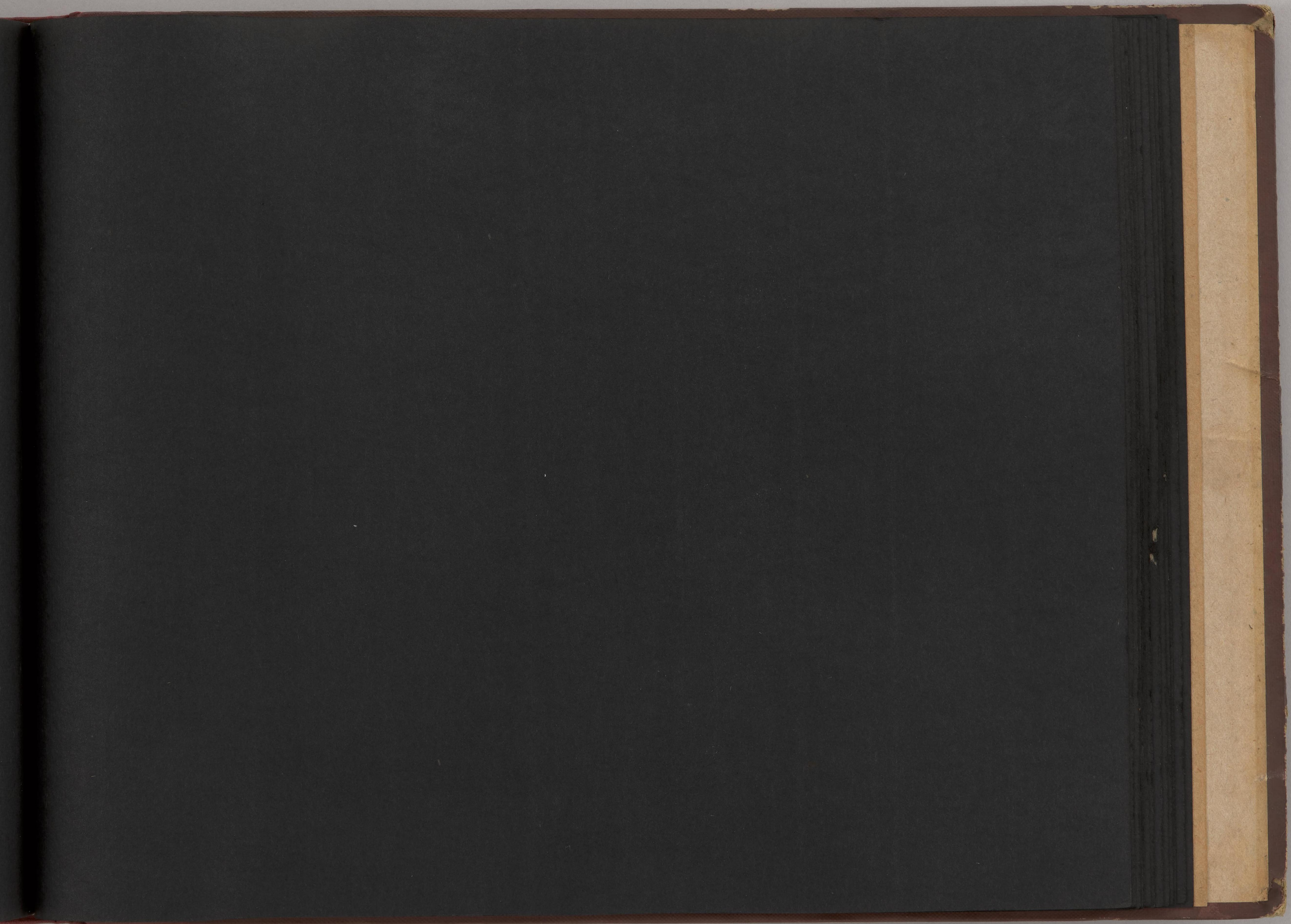
寫眞は

- 一、出發前の乾杯
- 一、スタートを切るコンドル機と見送り人
- 一、出發直前機上から見送り人に挨拶するへ
- 一、ンケ機長
- 一、出發直前コンドル機の勇姿















同盟寫眞

◎ロンドン機不時着

内地トヨシタ

第一一三號

（東京）十三年十二月七日

六日朝東京發一路マニラに向け快翔中日本時

間午後四時四十五分マニラ市を距る西南約二

十五キロ、カビテ州ロザリオ海岸二百米沖合

の海面に不時着乗員無事機体水中に没すとの

悲電があつた

寫眞はありし日のコンドル機の雄姿









◎コルプ参事官歸國  
滯日十五年日獨親善に努力し續けた獨逸大使  
館参事官コルプ博士は本省詰めに榮轉、七日  
午后一時東京驛發歸任の途についた  
寫眞は東京驛にて



同盟寫眞

内地ニュース

第四一五號

◎故飯塚部隊長の本葬

（東京）十三年十二月七日

去る四日無言の凱旋をした蘆山戦線の華故飯塚國五郎部隊長の本葬は長くも朝香宮鳩彦王殿下の御代拜を仰ぎ七日午后零時十分から青山斎場で盛大に営まれた

寫眞は明大總長の弔辭







◎故飯塚少將の留魂碑  
 蘆山の奉と散つた飯塚國五郎部隊が明治大  
 卒豫科配屬將校時代の教へ子達の恩師を追慕  
 する念にこよつて建設された留魂碑の入魂式  
 及び慰靈祭は六日午前九時から世田ヶ谷區和  
 泉丘の明大豫科校庭の留魂碑前で行はれた  
 寫眞は記念碑前の未亡人（上）と明大學生の  
 禮拜





◎四映畫に文部大臣賞  
 一五人の斥候兵 一日活と一風の  
 中の子供 一松竹の兩劇映畫及び一怒濤を  
 蹴つて 一東寶の南十字星は拓く 一横濱シ  
 ネマ商會の兩記録映畫の四本は本年度最優  
 秀映畫として榮えの第三回文部大臣賞を  
 獲得し七日午前十一時半より文部省大  
 臣室に於て荒木文相より夫々賞状を授  
 與した。寫眞は授與式



◎玉錦の遺骨かへる

旅に逝いた故横綱玉錦三左衛門の遺骨は松子  
未亡人（廿九）及び遺兒其他等に護られて六  
日午后九時東京驛着聲なき入京をした  
寫眞は東京驛にて







同盟寫眞

内地ヨリス

第一一二號

◎天皇陛下大本營陸軍部行幸

一東京一十三年十二月八日帷幄の機務に奉仕す

長くも天皇陛下には八日帷幄の機務に奉仕す

る三宅坂の大本營陸軍部に幸閑院幕僚長官

殿下を始め首脳部に賜謁奏上を御聴取あらせ

られ更に輝かしい戦果を物語る数々の兵器等

を天覽あらせられた。

御意は大本營前庭に福山後及び鹵獲兵器を

天覽あらせられる陛下と各官殿下







◎五覽の榮に輝く夫の機  
 天覽の榮に浴した福山機の出  
 騎福山本助氏は三重縣の搭乗者  
 堂太郎氏が農業を營み東京府下  
 村三連雀八五〇には夫人りよさん  
 一粒種の中女洋子さん(四ツ一  
 の響弟で中女大等法科一年生の忠  
 と共に亡き天君の冥福を祈りつゝ  
 てゐる。寫眞は光榮の福山夫八と  
 ◎美しい國立公園切手の第一回  
 遊信省では國立公園切手の第一回  
 として本月  
 二十五日から日光國立公園の風景  
 寫眞を刊行する  
 寫眞は美しい新切手



大日本帝國郵便切手  
日龍國企公園



〒





同盟寫真ニユース

十三年十二月九日

◎杉山北支方面最高指揮官着任

寫眞は去る十一月廿九日北京西郊飛行場  
に到着の杉山新最高指揮官と出迎への寺  
内前最高指揮官







同盟寫眞 海外△ニニニス 十三年十二月九日

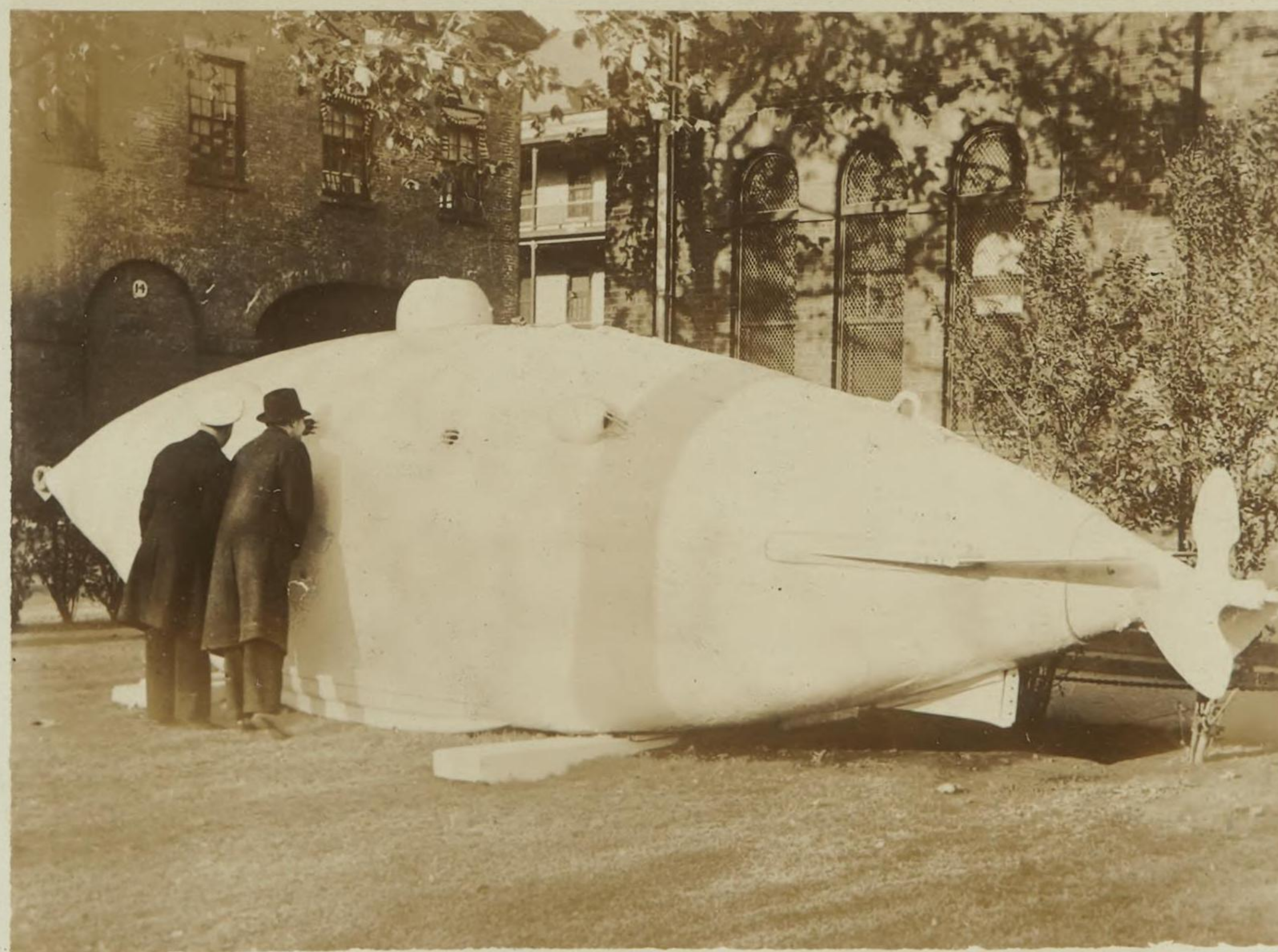
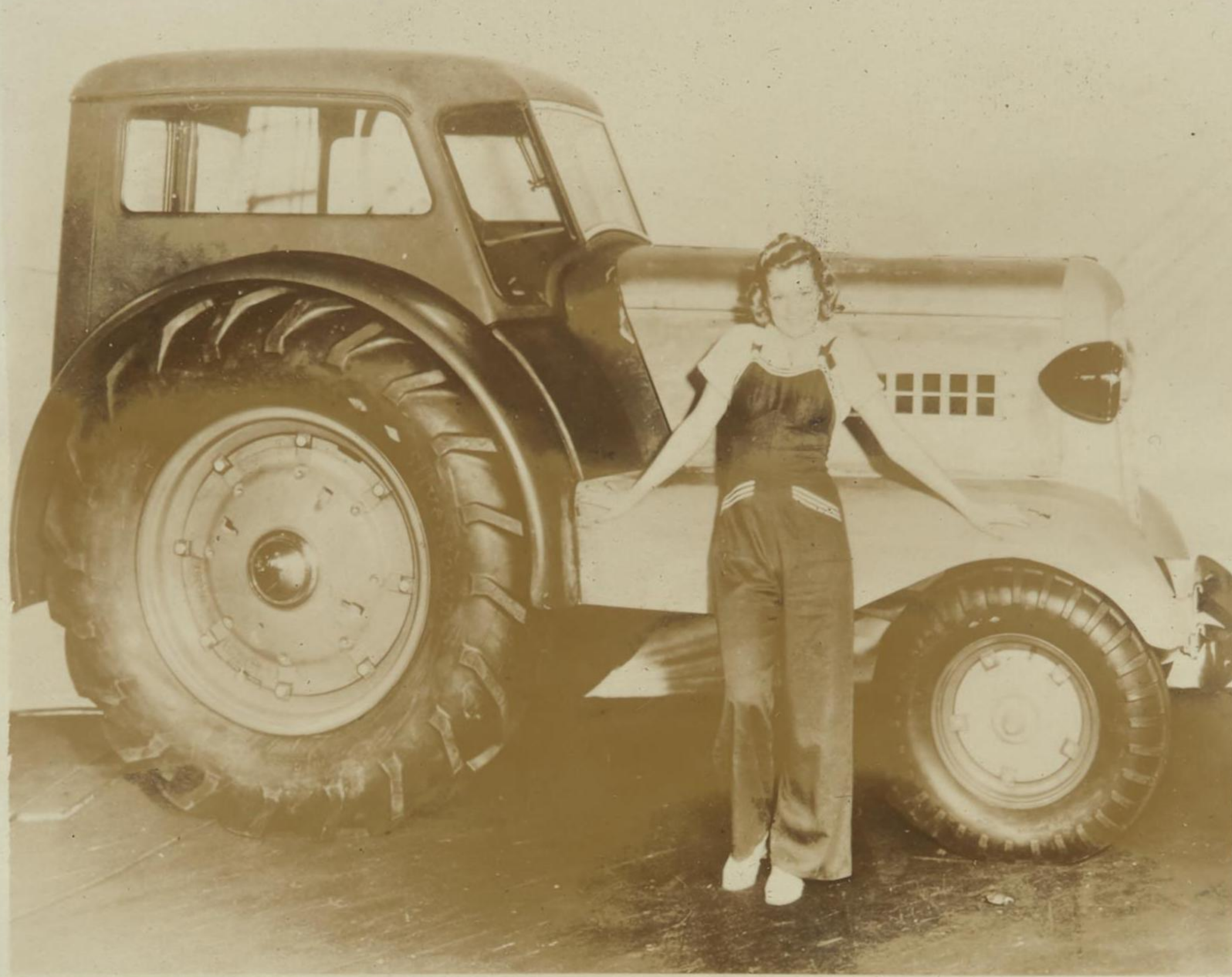
◎モダンなトラクター

(モリンー米國イリノイス州)發同盟  
トラクターはゴツ／＼したものと相場が極つ  
てゐるが之は又クツシヨン付でラデオまで備  
へてあるモダンなトラクター、能力は百バ  
セントとある。寫眞上豪華なトラクター

◎陸へ上つた艇

(ニューヨーク)發同盟  
ブルツクリン海軍工廠に陳列されてゐる千八  
百九十七年當時の米國海軍の精銳だつた潜水  
艇、現今の大型艇に比較して科學の進歩に驚  
かされる(寫眞下)









同盟爲眞

支那ニユース

十二月九日

◎南支より

一、南支〇〇船上に於て綱引きに興じる皇  
軍勇士達





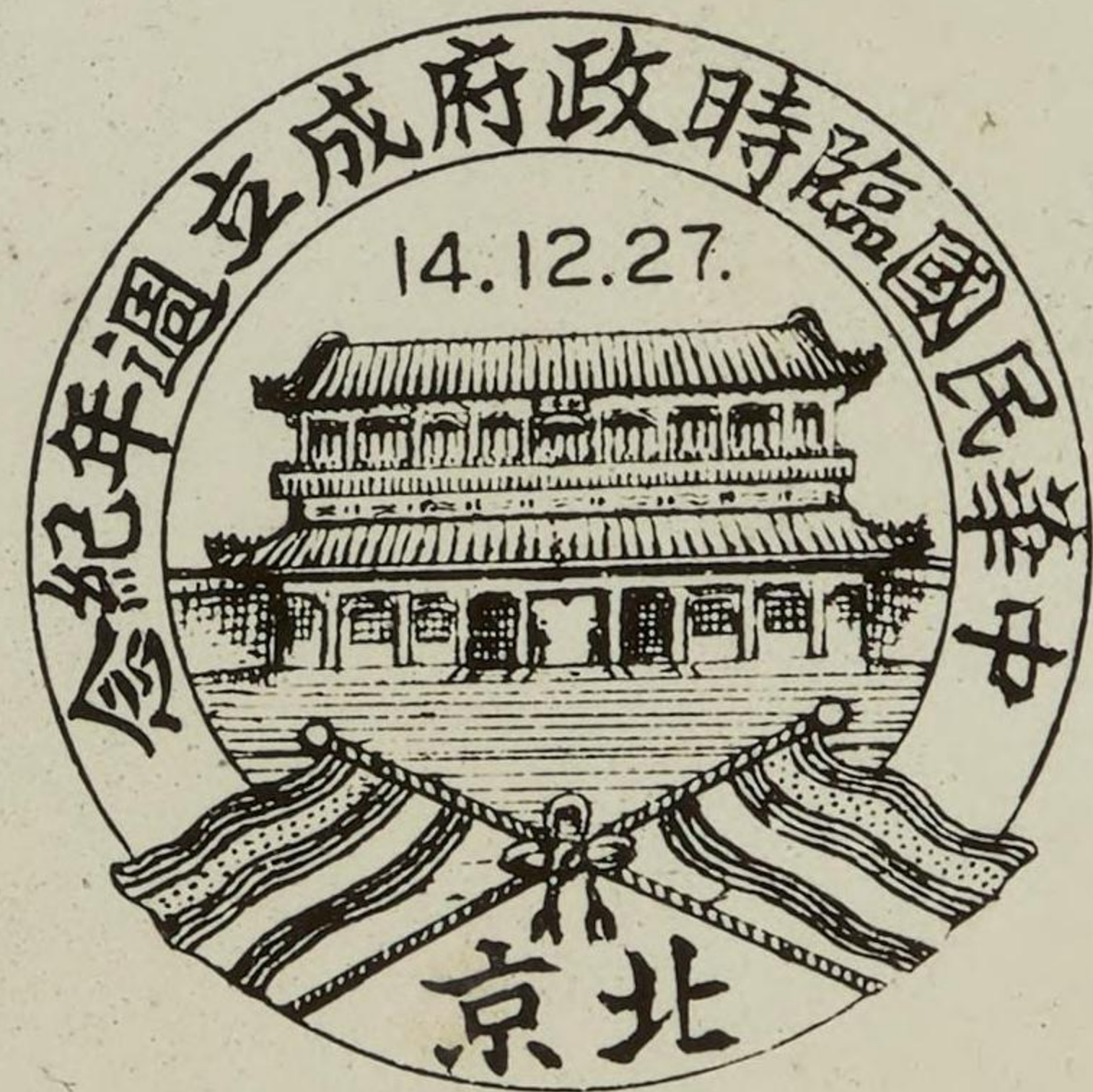
同盟寫眞 内地ニユース 第一一三號  
 ◎軍人後援會總裁官奉戴式  
 (東京)十三年十二月十日  
 軍人後援會の中樞機關として去月五日設立  
 された恩賜財団法人後援會ではかねて同會總  
 裁として朝香宮鳩彦王奉戴の允許を得てゐた  
 が榮ある奉戴式は十日午前十時半より九段皇  
 人會館で陸齋に舉行された。  
 寫眞は奈良會長の奉答文朗讀





◎軍艦入營風景  
 非常時下の陸軍を背負つて立つと云ふ氣概の  
 下に華々しく初年兵として入營する壯丁の何  
 んと元氣であることか十日の原隊はさながら  
 人の波、旗の波だつた。尙ほ愾等は今回限り  
 で許さぬことゝなつたのでこの華も當分見ら  
 れぬ譯だ。無量に入營風景





同盟寫眞

内地にユース

第一一三號

◎ 董顔やけた寺内大將  
戦塵落す湯河原温泉

(東京) 十三年十二月十一日  
北支方面派遣軍最高指揮官の重責を杉山大將  
に譲り軍事参議官に親補せられて内地に帰れ  
の歸還した寺内大將は十日午後八時十分湯河  
原驛着天野屋旅館に入り戦塵にまみれた軀を  
温泉で洗ひ何ヶ日振りかて内地でのまだらか  
な夢を結んだ。寫眞は湯河原驛着の寺内大將  
◎ 臨時政府成立一周年記念スタンプ成る





◎海洋少年團十五周年記念會  
竹下大將の閱式舉行  
大日本海洋少年團東京支部では十一日午前十  
一時から芝櫻田小学校に於て創立十五周年記  
念會を催した。  
寫眞は竹下大將の査閲と少女團の杖体操





同盟寫眞 第一四號  
 無敵皇軍を指揮して北支の山嶺を席卷し戰史  
 壽一大將は十二日午前九時三十分東京に着帝  
 都に歸還、歡迎裡に坂下門より軍狀奏上のた  
 め参内した。東京驛頭入京の光景  
 寫眞は一、直ちに参内



同盟寫眞

運動ニユース

第一一二號

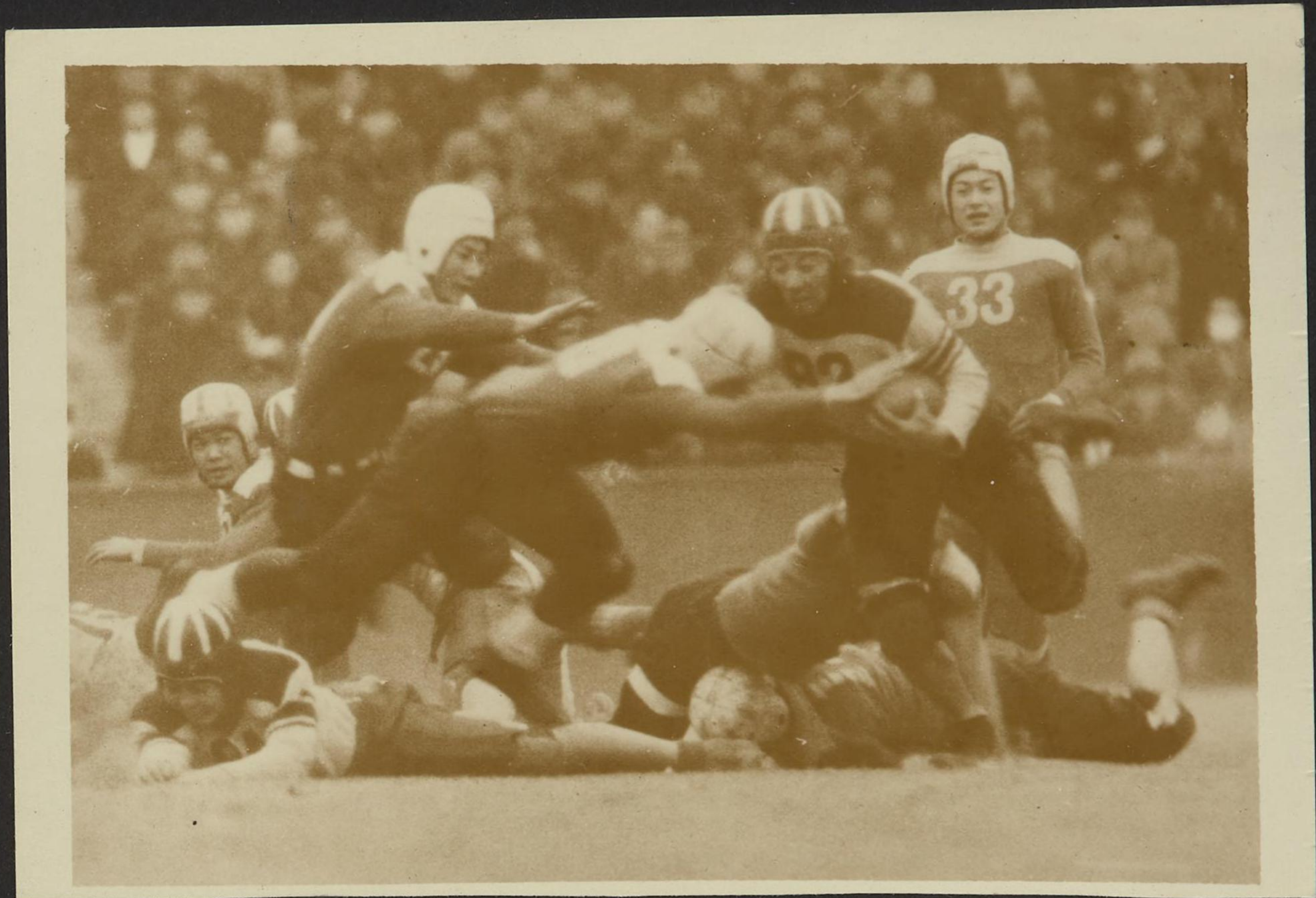
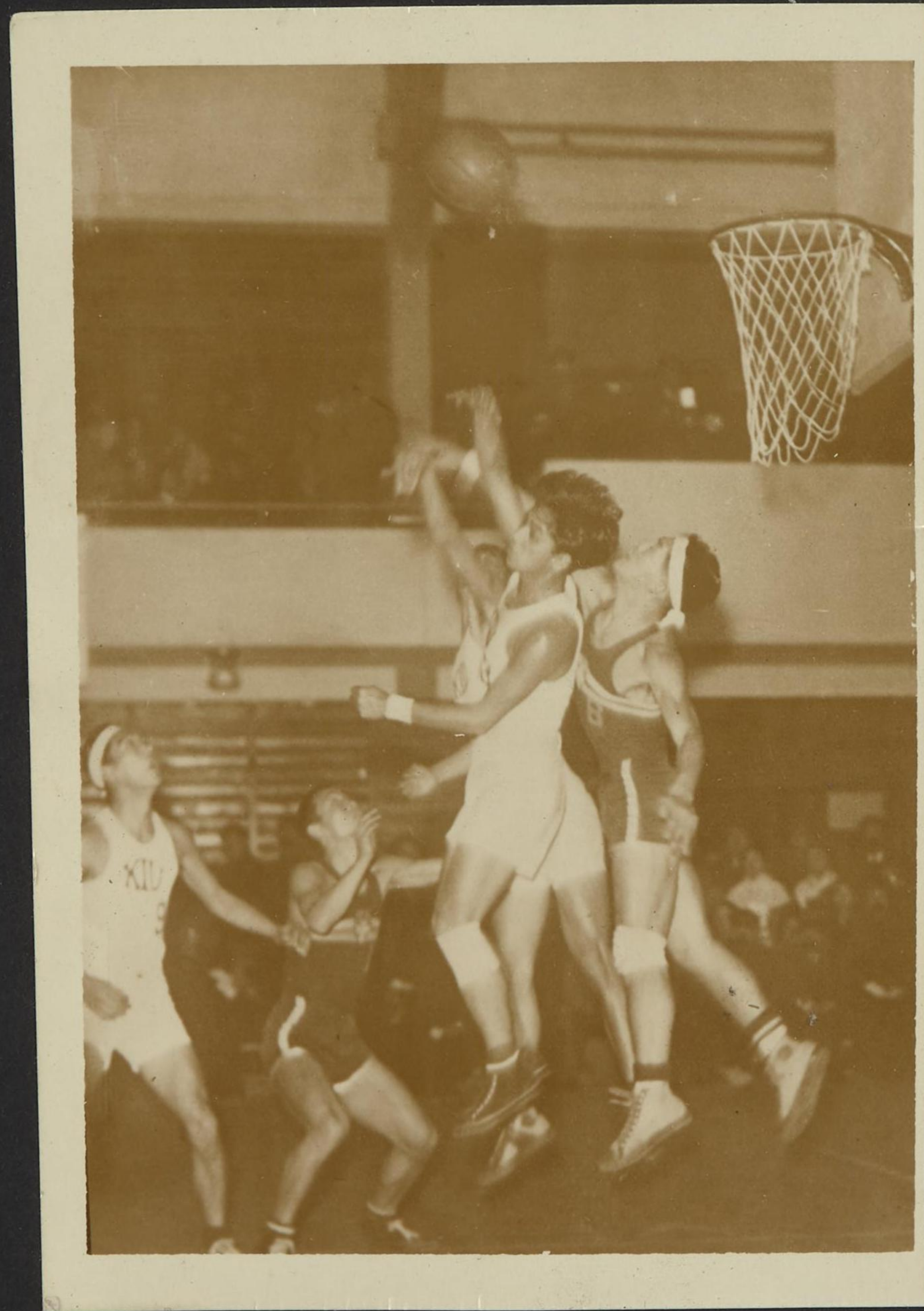
◎米式蹴球と籠球戦

(東京)十三年十二月十二日

東京學生蹴球リーグ戦の早大對明大米蹴球戦は  
十一日午後後樂園スタヂアムで開催された。  
籠球全日本選手権立京第二回戦は十一日午後  
七時二十五分から國民体育館で開催された  
寫眞は

- 一、早大ゴールに迫る明大軍 (米蹴球戦)
- 一、前半十分頃京大軍のシュート (籠球戦)









同僚 高島 内 地 ニ ュ ー ス  
 ◎ 感 状 に 感 謝 の 詞 部 隊 長 宅  
 ( 東 京 ) 十 三 年 十 二 月 十 三 日  
 及 川 部 隊 長 留 守 宅 へ 感 状 が 授 與 さ れ  
 上 聞 に 達 せ ら れ 兩 部 隊 長 留 守 宅 は 感 謝 の 涙 に  
 咽 ん だ 喜 び の 兩 家 族 ( 久 納 部 隊 長 留  
 守 宅 ( 上 ) と 及 川 部 隊 長 留 守 宅 ( 下 ) )

第一一五號





◎ボイナス國債好況  
 ボイナス期を狙つた大藏省の第三回支那事變  
 公債郵便局賣出しは十三日全國一斉に始まり  
 東京中央郵便局だけでも同日午前中の賣上げ  
 がザツと五萬圓、尙この日は例の移動郵便局  
 の赤塗り自動車隊も出動、どル街に賣休みの  
 サラリーマンも組つて活躍した。  
 賣上げ日劇並の移動郵便局



同盟寫眞

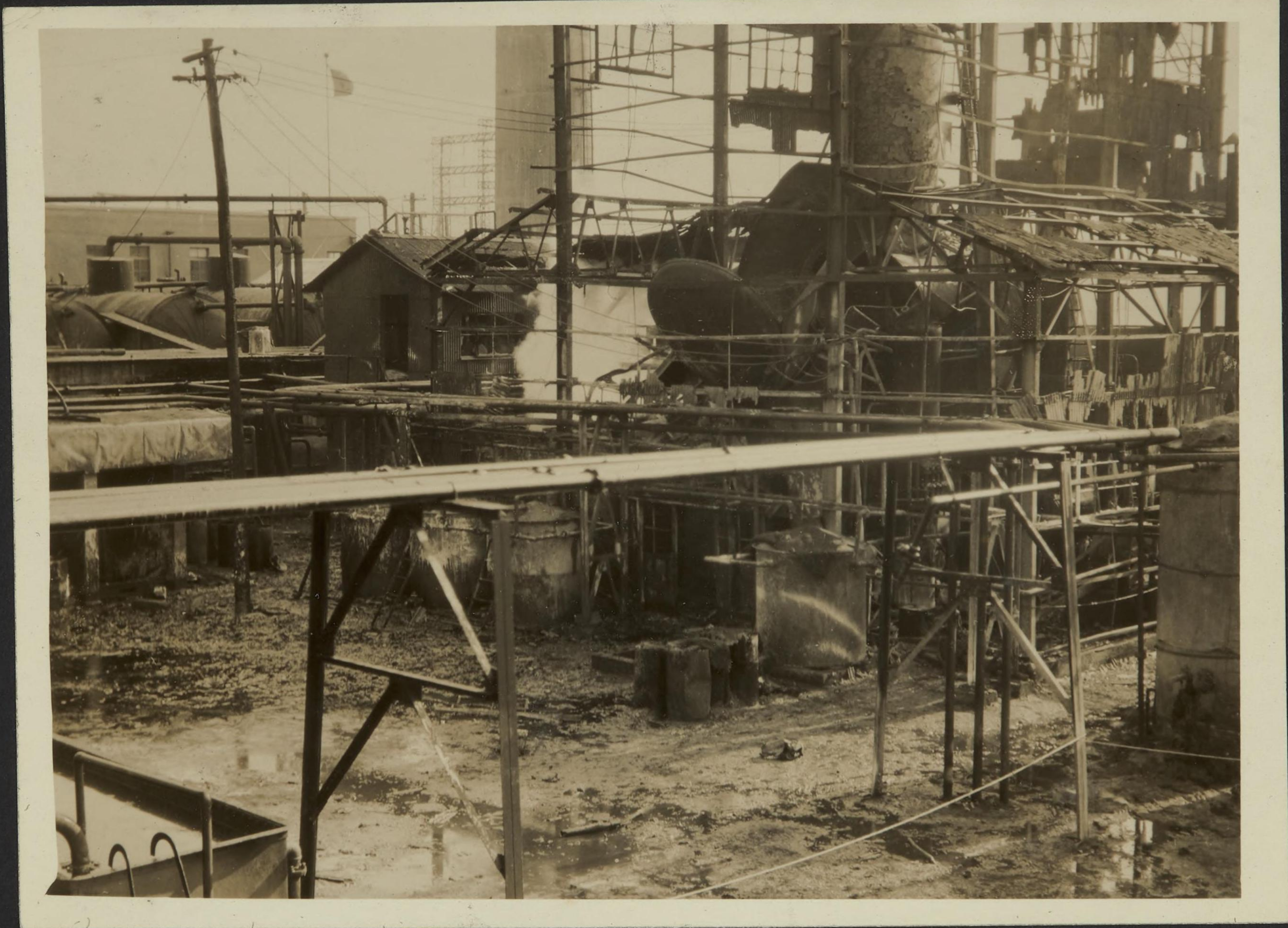
内地ニユース

十二月十四日

◎愛國石油の燃燈椿事

十四日午前八時四十分頃川崎市扇町愛國石油  
會社に燃燈椿事があり四名の即死者を出した  
寫眞はその現場









◎けふ泉岳寺の人出  
 時節柄えらい賑ひ  
 元祿の昔をしるふ師走なかばの十四日、芝高  
 輪の泉岳寺は時局を反映してか開山以來と云  
 ふ大記録をつくつて午前十時までの参詣者は  
 なんと約一萬、境内は身動きも出来ぬ程の大  
 盛況を呈した。寫眞は賑ふ泉岳寺





同盟寫真 内地ニュース

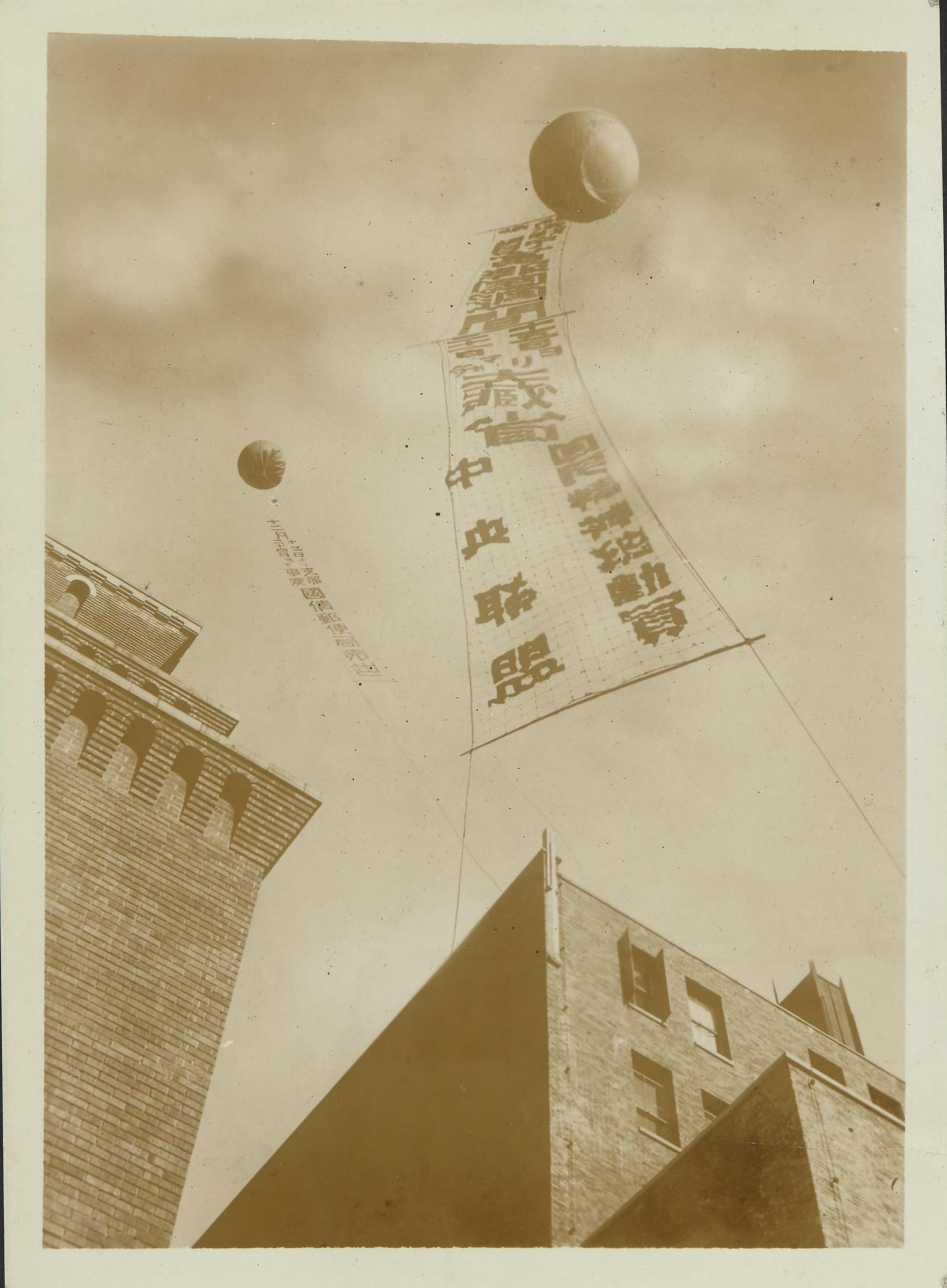
◎春場所大相撲迫る

(東京)十三年十二月十五日

第一、四號

春場所大相撲開場の切迫と共に各部屋では地方巡業よりの歸京組は何れも猛稽古を始めた寫眞は二所ヶ關部屋にて





◎經濟戰強調週開始まる  
國民の「愛」の歳末非常警戒—經濟戰強調週  
間はもと「愛」の歳末非常警戒—今朝から開始派  
手をアドバルーンやボス各一が貯金々々さ  
あ今日から「と」アジれば郵便局は一預金は午  
後六時まで繰延べて取扱ひます」と地味を駐  
り札でこれに應へる。寫眞は空に揚がるアド  
バルーン





◎ 皇太子殿下御婚儀  
陸軍大臣 榎御在 皇太子殿下御婚儀  
皇太子殿下御婚儀 皇太子殿下御婚儀  
賀子姫（十八歳）との御婚儀は十六日宮  
中賢所大前に於て行はれた。  
寫眞は兩殿下御姿





◎興亞院店開き  
大陸政策の大本營「興亞院」は十六日開院、  
「興亞院」の新看板は舊議事堂正門に掲げら  
れた。寫眞は新看板と柳川總務長官の挨拶



同盟寫眞

支那ニユース

十二月十七日

◎漢口より

一、東久邇中將宮殿下漢口日本總領事館跡  
御視察（十一日）





同盟

内地 三平久 七月十日

②憲政五十年の合著歴代議長初の集い  
 議合開会を前にして吾が憲政史の上に強き定  
 評を述べた人々「近代家後院議長の集い」  
 を死すの時の集い集地新嘉坡下催された  
 一言具はれて前朝存心山、世田、建、秋、田、市、泉  
 屋、光、怡、列、右、多、大、木、吉、記、官、長、植、根、増、良、國、分、  
 植、厚、の、諸、氏、







◎ 兩脚を失つた白衣の勇士と

：白衣の天使の美談：

上海敵前上陸戦に敵砲で兩脚を失つて今軍  
醫學校病院に入院中の村瀬弘君は愛國婦人會  
の看護婦熊崎みえさん（二二）は明春結婚す  
ることになり名譽の村瀬君に兩脚を捧げ生涯  
世話をすると言ふ美談である。  
寫眞は美談の主村瀬君と熊崎みえさん（病院  
にて）







司監 内地 三平久 十月廿日

① 貯金部えん 歳末の衝動は大に強

經濟部は個個の才三の大白特前の上  
五毫券の券下貯金部えんの紙廿五枚に  
見揚人の意いしと有るが、見揚人の中に  
左死者のあ役人達の十億貯金を強調  
す。廿五枚は又これに、上り具は在り  
多。田部一海長、大島根命長、山住村大郎、次長  
等









同盟為眞  
 ◎東久  
 内地ニユース  
 第一十三號  
 同盟為眞  
 東久  
 三年十二月十九日  
 午後三時一分特急櫻  
 花  
 御着  
 萬平ホテルに入らせられた  
 高平ホテルにて謹寫  
 寫眞





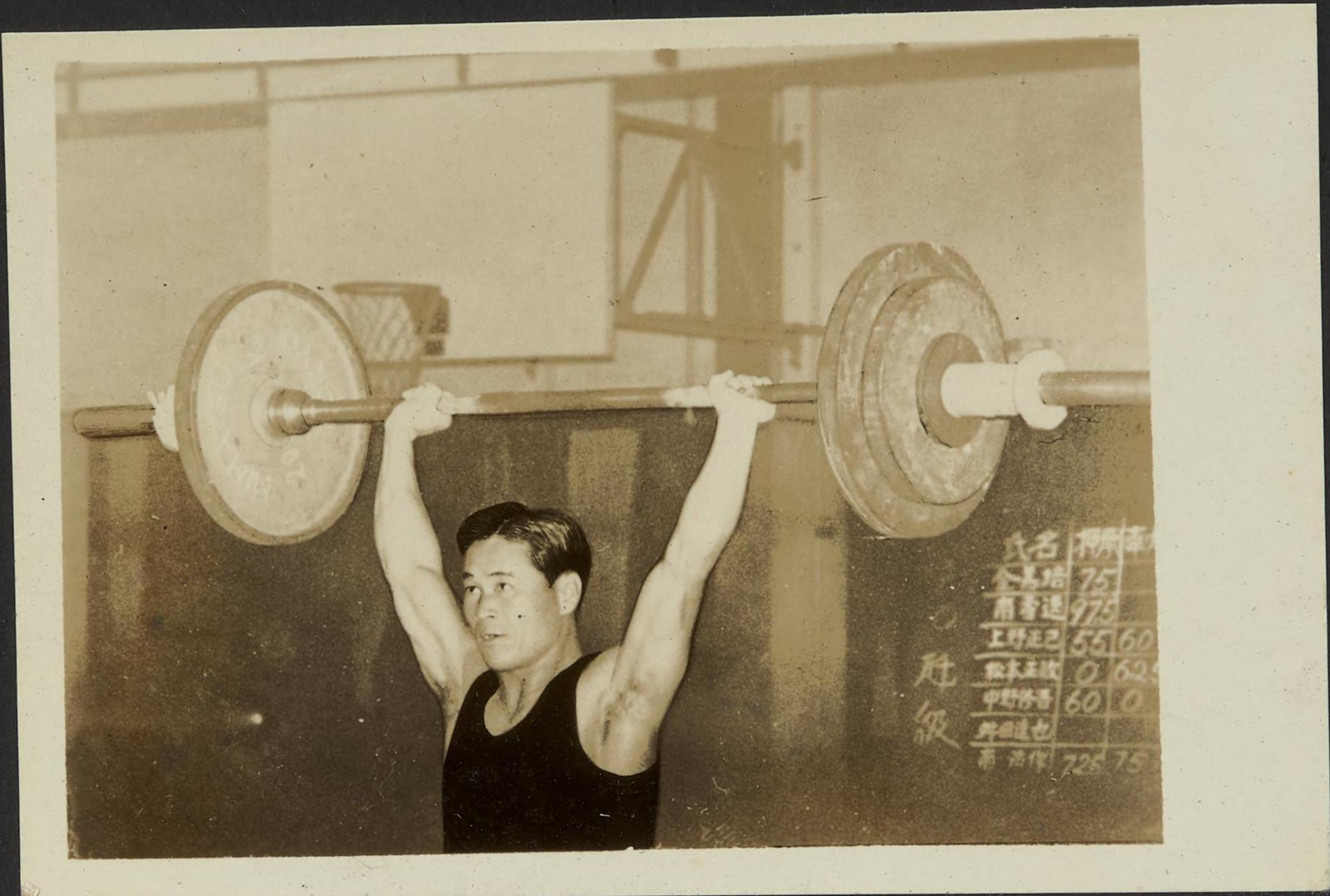
◎北支派遣教授団出發  
財団法人華僑會派遣の北支視察團々長日  
大土部部長佐野利器博士一行は十八日午後九  
時四十分東京港發身臨壯送に就いた  
寫眞は東京新聞にて





◎重樂の父記念式  
重樂の父元陸軍少将永井建子、元海軍少将戸口吉爾翁の功績を讃へる表彰記念の祝賀會は十八日夜八時から丸の内中央亭で開催された。寫眞は右瀬戸口氏、左永井氏





◎南洋學堂舉に世界新記録  
 第三回全日本重量舉競技選手權大會第二日は  
 十八日午後五時より國民体育館で舉行、南洋  
 手が堂々世界記録を演立した  
 寫眞は南洋



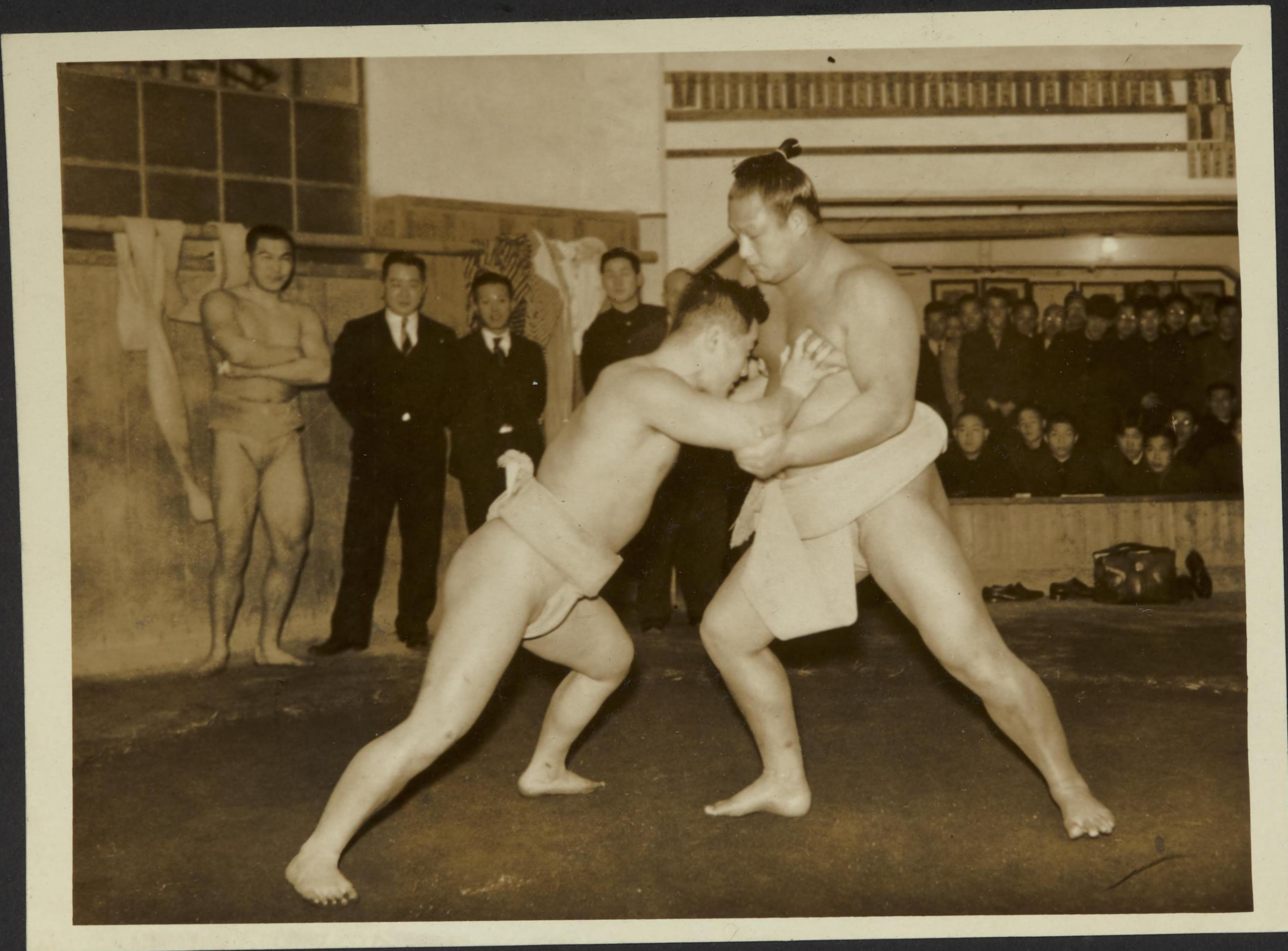
3

及  
世  
界  
の  
大  
海  
に  
あ  
る  
船  
を



①  
 フロートル機遭難現場  
 去年の日本訪問と一々好ましい見物の  
 記録と作りの帰還に船中の途中と云う  
 附近無念の命を失ったフロートル機





③ 双葉山が若生相撲に稽古を  
 今を時々双葉山が若生相撲  
 稽古の相撲が下若生相撲を向ふに  
 若生相撲をいつか  
 若生相撲と稽古に主将



同

三三六 十二月廿一

④ 加賀陽大徳山宮 御帰還

合事表に赫々たる御武顔とあり

之れは北に陽宮名跡に在りしに

三時卒のふり事多し御帰還に有るに

御宮に在りし御邸に久方振りに妃宮

名堂様と御詠面を謹言







同照寫眞 内地ニユース 第一一三號  
 ◎東京久邇宮殿下晴れの御歸遊  
 一東京一十三年十二月二十一日  
 大國の御征旅に三軍を御統率あそばされて八  
 ケ月、武漢攻略に不滅の御武勳を著てさせら  
 れた東久邇中將宮殿下には此の度軍事參謀官  
 に御榮轉、廿一日午後二時廿五分東京御着  
 晴れの御歸遊はされた。  
 御寫眞は東京御にて謹寫



◎鹽澤中將軍狀奏上



◎鹽澤中將軍狀奏上  
 世界戦史に輝くバイアス敵前上陸を掩護し  
 又廣東を攻略、南支作戦に赫々の武功を擡て  
 この度軍司令部出仕に榮轉した前南支方面海  
 軍最高指揮官鹽澤幸一中將は廿一日午前九時  
 十分東京に着列車にて帰京、直ちに參  
 内、天皇陛下に光榮の軍狀奏上をなした。  
 寫眞は入京の鹽澤中將向つて左は出迎への米  
 内海相（於東京）





◎ 憧れの日本へ北京から七人の姑娘  
 憧れの日本へ留学の嬉しさを胸をふくらませ  
 て北京から七人の姑娘が廿一日午前七時十分  
 東京に着列車で入京した一行は今年五月創立  
 の自由學園北京生活學校第一回卒業生中から  
 選抜された娘さんである。  
 寫眞は東京にて







同盟寫眞 内地ニユース 第一〇三號  
 ◎東京久通中將官邸下御奉告参拜  
 (東京)十三年十二月廿二日  
 午前十時麻布南  
 兵衛町の御殿を御出ましになり先づ明治神宮  
 に御参拜御歸還の御奉告を遊ばされ、ついで  
 靖國神社に御参拜遊ばされた。  
 靖國神社(下)御参  
 拜の東京久通官邸下



戦時下に迎へる第七十四回  
◎戦時下に迎へる第七十四回  
會を迎へる永田町の白







◎戦時下に迎へる第七十四議會  
戦時下に第七十四議會を迎へる永田町の白亜  
の巨堂は頼に緊張を加へ開會準備の陣容にも  
戦時色が張つてゐる  
爲に守衛さんの勢揃ひ



◎皇太子殿下御近影

―官内省御貸下―

（五月五日御著袴の御儀の砌り官内省御寫眞  
部にて謹寫）

尙ほ廿二日廣幡皇后宮太夫より謹話發表さる  
る由。

―訂正―本御寫眞予告に際し紙上御發表の時  
期を廿五日としましたが廿三日の誤植につき  
訂正致します。







同照寫眞

内地ニユース

第一一四號

◎討論會陣容整備

（東京）十三年十二月廿三日

第七十四議會に關むに當り各派は夫々本部に於て組織會、幹事會、常議員會等を開き諸般の準備を完了、議員總會を開催した

- 一、民政勝幹事長の挨拶
- 一、政友島田代行委員の挨拶
- 一、社大安部黨首の挨拶







同盟黨眞  
◎第七十四  
内地ニユ  
會成立

第一一四號







同盟黨眞 内地ニユース 第一一四號

◎第七十四議會成立

(東京) 十三年十二月廿四日

事變下二度目の通常議會としてまた東京新秩序の建設に即應すべき豫算並に諸法律案を審議すること、重大意義をもつ第七十四議會は廿四日召集、貴衆兩院とも所定の手續を経て即日成立を告げた。  
寫眞は衆議院本會議堂全景





一、控室で出征軍人のために日章旗に署名する小泉又次郎氏と一番乗りの伊藤東一郎氏





◎軍神として座す千余の弾痕  
昭和の軍神としてその武名を謳はれる戦車隊  
の華、故西住小次郎大尉愛乗の戦車が板橋の  
兵器支廠で初めて寫眞の撮影が許された。  
寫眞は千百余の弾痕ある戦車



同盟真部十一月廿五日

◎式守伊之助引退披露相撲大会

士俵生活満四拾年を記念として引退あることに  
あつた行司式守伊之助の引退相撲大会は午前  
九時から靖国神社相撲場を盛天に真部が引退  
式と眞部は大会全盛と、式守伊之助

◎講道館長就任式

故喜加納治五郎公の後を継いで講道館二代目の館  
長に決意した海軍少将南郷次郎氏の就任式は  
午前十時から石川の会館に於ておけられた。詞  
宗眞は就任式に於て新館長南郷氏の就任奉







同四正字部 土月林五口

訂正

講堂館とあるは講道館の  
尚書に付右訂正の如くす







同盟為真

西地ニユース

第一一四號

一、東京一十三年十二月廿六日

廿四日を以て召集された第七十四通常議會

の歸院式は長くも天皇陛下の親臨を仰いで

廿六日午前十一時貴族院において行なはれた。

寫置は

一、行幸處簿

一、各大臣の記念撮影

一、華答文可決一衆議院本會議







